

令和 6 年 6 月  
さといも振興研究会

さといも生産者 各位

## サトイモ疫病の発生確認に御協力ください

いるま野管内では、令和2年に重要病害のサトイモ疫病が広範囲に拡大して大きな被害をもたらしました。その後数年は、環境条件から発生、被害ともに少ない状況ですが、今年は高温多雨が予測されており、本病の被害が懸念されます。

サトイモ疫病は発生すると急激に広がり、大きな減収につながる恐れがあるため、早期の発見・防除が特に重要です。

つきましては、ご自身のさといもほ場をこまめに観察していただき、本病と疑われる症状を発見した場合は、JAまたは川越農林振興センターまで速やかにご連絡をお願いします。

### 記

#### 1 初発時期

6月～8月（令和2年は7月7日に初発を確認）

#### 2 発病しやすい気象条件

6月以降、日平均気温が20～25℃で、日降水量20mm以上の多雨や、数日間降雨が続く場合。特に、1株あたりの親芋・子芋を合わせた葉枚数が15枚以上になると、ほ場内が高湿度条件となるため発病の危険が高まります。

#### 3 連絡先

お近くのJAいるま野、または

川越農林振興センター農業支援部 TEL 049-242-1804

#### 4 参考（サトイモ疫病写真）



左：葉表、右：葉裏の病斑

進行した病斑

病斑拡大

葉柄上の病斑